

3-(1)市民や関係者の取り組み目標と理解
優先項目にかかる取り組み一覧

団体名	取り組みの方向性	期待する効果	具体的な取り組み	各年度の具体的取り組み			
				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
志摩市女性の会連合会	「里海のまち」という認識が、まだまだ市民の中に根づいていないので、「里海とは」、「地産地消とは」等、もっと多くの市民が理解できるように推進していく。そのためには、まず、会員の中で里海について理解や意識をもってもらうようにする。	志摩の特産物を使った料理教室や学習会を行うことで会員や若い人達にも食材や里海について興味・関心がもてる。	料理教室	和具地区	和具・阿児地区合同で開催	各地区それぞれで開催(和具・阿児)	
			目標値	10人	20人	40人	
			学習会	和具・阿児地区合同で開催	各地区それぞれで開催(和具・阿児)		
			目標値	20人	40人		
ぷらっと家(ホーム)	・子育て応援フリーマーケット(年2回)での里海の情報提供、パネル展示 ・親子向け農業体験 ・不登校生と農業実習(職場体験)⇒生産から出荷まで ・働きやすい職場づくりの支援(子育て、介護中の女性等)	一次産業の情報(就労・体験等)を提供して、担い手を育成する。	フリーマーケット年2回	春・秋	春・秋	春・秋	春・秋
			目標値	利用者UP	前年比+20人	前年比+20人	前年比+20人
			農業体験	年2~3回	年2~3回	年2~3回	年2~3回
			目標値	参加者20人	参加者30人	参加者40人	参加者50人
畔志賀漁師塾(三重外湾漁協)	畔志賀漁師塾で志摩特産のキノコの生産を始めている(休漁期の収入)。	漁業者の所得増	志摩特産のキノコ作り	キノコ作りの技能習得	キノコ販売		
			目標値	—	—		
志摩市観光協会	市民の理解と誇りの醸成 「志摩市観光資源テキスト化」 ・将来的な観光ガイド検定の準備段階として、市内観光資源(歴史・伝統文化・景観・食・産業・レジャー・公共施設・寺社仏閣等)のテキスト化を行う。 ・テキスト化をもとに検定本を作成(ふるさと検定の位置づけ)。 ・観光ボランティアを目指す人は検定を合格した後、別途ガイド研修・検定を受け、観光ガイドとしての認定を受ける。	ガイド検定とあわせ、将来的には郷土愛の醸成(地元小・中学校での土曜授業等)、地元への人口定着やその受け皿としての雇用機会創出、産業連携(6次産業化)。	平成28年11月より、月1回打ち合わせ、カテゴリ(ジャンル)分けやピックアップを行い、28年度内にテキスト化(たたき台を作る)を行う。	ふるさと検定の実施(予定)	ふるさと検定の実施(予定) (ガイド研修・検定の実施)	ふるさと検定の実施(予定) (ガイド研修・検定の実施)	ふるさと検定の実施(予定) (ガイド研修・検定の実施)
			目標値	未定	未定	未定	未定
政策推進部 (里海推進室・市長公室)	・まちづくりの理念だけでなく、市民生活と自然との関係性がわかりやすいように、広報しまや行政チャンネル、ホームページ等の広報媒体を活用し、市内で行われている具体的な取り組みやその成果を継続して発信していく。 ・関係団体との連絡を密にし、発信すべき情報を積極的に把握して情報発信を行う。	市民が「人と自然が共生する里海」の魅力に気づき、まちに誇りを持つようになるとともに、家族や来訪者にその魅力を語れるようになっていく。	市の広報媒体を活用した情報発信	・新しい里海のまち・志摩HP、FB等の運用 ・広報しま、行政チャンネルでの情報発信 ・里海読本の作成	・新しい里海のまち・志摩HP、FB等の運用 ・広報しま、行政チャンネルでの情報発信	・新しい里海のまち・志摩HP、FB等の運用 ・広報しま、行政チャンネルでの情報発信	・新しい里海のまち・志摩HP、FB等の運用 ・広報しま、行政チャンネルでの情報発信
			目標値	里海ホームページのアクセス数 21,000件 日常生活や事業活動で自然との共生を意識し実践している人の割合 %	里海ホームページのアクセス数 23,500件 日常生活や事業活動で自然との共生を意識し実践している人の割合 %	里海ホームページのアクセス数 26,000件 日常生活や事業活動で自然との共生を意識し実践している人の割合 %	里海ホームページのアクセス数 28,500件 日常生活や事業活動で自然との共生を意識し実践している人の割合 %